

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

本号総説河内十郎先生執筆の「症例 H.M. の功績」は、今後必ず多くの論文に、長く引用され続けるであろう。長年にわたり H.M. 研究をフォローし、おそらく H.M. に関するすべての論文に目を通されている著者にしか書けない、ポイントをついた、重厚な内容が平易な筆致で表現されているからである。この論文を読めば記憶概念の成立が理解できる。H.M. には時間推測の障害もみられたことが明らかにされている。

ヒトで特に発達した「過去」「現在」「未来」にわたる時間の意識を、「こころの時間」と称する。それについて多領域からアプローチするのが「こころの時間学」である。時計が刻む時間に、実は実体がないという考えもある。例えば、ある民族の言語には、過去形・未来形がなくすべて現在形ということも、その根拠の1つとして挙げられている。視覚・聴覚・体性感覚と違って、時間に対して特殊化された感覚器は存在しないし、特定の刺激を受けたときのみに時間が認識されるわけでもない。ヒトは「時計の文字盤上の動き」だけを介して時間の流れを感じている、とする立場もないわけではないが、私にはこの説はいまひとつ説得力に欠けているように思える。「時間」認知は、哲学・心理学・社会学のようないわゆる文科系学問領域における研究対象であった。「こころの時間」についての脳研究における成果は国際的にみてもまだ少なく、ようやくこれから本格的な研究が開始される、という状況にある。

ちょうど1年ほど前に、北澤 茂先生が中心になり、「こころの時間学」研究グループができ、本号著者を中心に活動を始めた。何回か研究会を開催し、互いの従来研究成果を紹介し、議論を重ねた。元々どこかで交流があった研究者同士であり、互いの仕事のおおむねはもちろん理解していたが、少人数でのディスカッションは有益で、理解の内容が深まった。その直近の成果をまとめたのがこの特集である。「こころの時間」に対する現時点での脳科学からのアプローチをまとめた、類をみない特集企画であると自負している。

ごく最近本特集著者らが核となって、平成25年度の文部科学省“新学術領域”研究の開始が決定したことも追加しておきたい。5年間にわたる規模の大きい研究計画である。「こころの時間学」では、単独の「学」では解明できない新たな研究の創造を目指す。それぞれの専門領域を越えた、広範で複合的な立場の研究者と協調して「こころの時間学」をさらに育み、大きな成果を挙げたいと皆張り切っている。

(河村 満)

BRAIN and NERVE (第65巻 第8号)

2013年8月1日(毎月1回1日発行)

定価2,835円〔本体2,700円＋税5% (送料実費)〕

2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版35,670円、冊子＋電子版(個人)40,670円／(共有)46,100円、

電子版(個人)35,670円／(共有)41,100円

販売部直通電話 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2013, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。